科目名	子ども看護学概論	対象学年・時期	1年・後期
講師	専任教員	単位数・時間数	1単位・15時間
講義概要	ディプロマポリシー3に基づく。小児看護の対象である子どもの理解を深めるため、子どもの成長・発達の特徴を学び、子どもを取り巻く環境として、現代の家族や社会の状況を知ることは小児看護を学ぶ上で重要となる。また、子どもへの直接的な支援とともに様々な不安や悩みを抱える家族が安心して育児にあたることのできる環境作りが小児看護の役割である。 子どもの理解を深めるためには、小児看護の理念、歴史と意義、子どもの権利について学び、子どもの権利を擁護する小児看護のあり方について考え、子どもを主体とした看護を考える必要がある。また、子どもの成長・発達の特徴を学習し、子どもの健康問題や子どもを取り巻く社会・医療の現状と課題、子どもの法律や施策、小児看護で用いられる理論についての知識を習得できるようにする。 子どもやその家族を理解することにより、子どもと家族の成長・発達を支援する看護実践ができるようになるための基礎的知識の定着をねらいとする。		
講義形態	「講義」・「個人ワーク」		
学習目標	・小児看護の理念、家族とともに子どもの権利を擁護する小児看護の考え方を習得できる。 ・子どもの健康問題や子どもを取り巻く社会・医療を理解し小児看護の課題について説明できる。 ・小児看護の理論を基に子どもの成長・発達を支援する看護について理解できる。		
学習内容 （授業計画）	１．小児看護学で用いられる概念と理論 ①（小児看護　小児看護の歴史　子どもの権利と看護） ２．小児看護学で用いられる概念と理論 ②（小児看護で用いられる理論） ３．子どもの成長・発達と看護 ①（成長・発達の原則　乳児期の子どもの成長・発達と看護） ４．子どもの成長・発達と看護 ②（幼児期の子どもの成長・発達と看護） ５．子どもの成長・発達と看護 ③（学童期の子どもの成長・発達と看護） ６．子どもの成長・発達と看護 ④（思春期の子どもの成長・発達と看護　発育の評価） ７．子どもを取り巻く環境 （子どもと家族が健やかに生きるための環境）		
使用テキスト	ナーシング・グラフィカ　小児看護学①　小児の発達と看護		
事前学習・ 事後学習 (学習を促進できる学修)	内容については「学習内容」を参照してください。 事前学習については、指定日まで各教員に提出してください。		
評価基準と 評価方法	筆記試験		
備考			